

平成20年度 オール東京62市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」実績報告書

事業名	主な事業内容	
〔1〕CO ₂ 削減につながる活動の普及・省エネ促進・温室効果ガス排出抑制		
1. 共同事業普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ●パンフレットの作成 ●共通啓発物品の作成（しおり付カード型種子、省エネマグネット） ●環境アニメDVD「かれんと不思議の森」（字幕付）配布 	
2. 温室効果ガス標準算定手法の共有化推進	<ul style="list-style-type: none"> ●「特別区版」を「区市共通版」に拡充 	
3. 省エネチャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ●小学6年生(原則)を対象に家庭での環境負荷低減活動を実施 	
〔2〕みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制構築		共同宣言
1. ホームページの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●62市区町村の連携を深めるため情報を共有化し内容を充実 	
2. 市区町村職員共同研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●講座：「地球温暖化と省エネルギー」「東京のみどりの保全と創造」 ●講演会：「大江戸えねるぎー事情」 	
〔3〕人々が環境を考え、行動できる場の設定		
1. みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金交付	<ul style="list-style-type: none"> ●市区町村が独自に実施する自然環境保護、地球温暖化防止事業に、1市区町村100万円を限度として助成金を交付。 	
2. みどり体験交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境に対する理解を深めるとともに、自然の中での集団生活を通して子どもたちの健全な成長を促すことを目的として「海・山・里・都市の体験事業」を実施。 	
3. みんなで環境を考える共同行動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●シンポジウム「みんなで考えよう温暖化」の開催 ●環境事業の実施状況を調査 	

〔1〕CO₂削減につながる活動の普及・省エネルギーの促進・温室効果ガス排出抑制

1. 共同事業普及・啓発

(1) 共通啓発物品の作成

○内 容 「かれんと不思議の森」のキャラクターを使った、オリジナルの「しおり付カード型種子」を作成し、市区町村のイベント等で配布した。なお小笠原村に対しては生態系保全のため別途「省エネマグネット（温度計）」を作成した。配布数は「共通啓発物品およびパンフレット配布数」とおり。



しおり付カード型種子



省エネマグネット（イメージ）

○効 果 市区町村のイベントや公共施設等における啓発物品の配布を通して、Eプロの周知を図ることができた。

○実施時期 第1回 しおり付カード型種子 平成20年6月
第2回 しおり型の花の種子 平成21年2月
省エネマグネット 平成21年3月

(2) パンフレットの作成

○内 容 Eプロの平成20年度事業概要および平成19年度事業実績等を記載したパンフレットを作成し、市区町村のイベント、公共施設等で配布した。配布数は「共通啓発物品およびパンフレット配布数」とおり。

○効 果 各市区町村の住民にEプロの趣旨、内容を伝えるとともに、Eプロ主催事業における普及・啓発に活用できた。

○実施時期 平成20年8月～平成21年3月

【共通啓発物品およびパンフレット配布数】

自治体名	第1回	第2回	パンフレット	自治体名	第1回	第2回	パンフレット
千代田区	2,000	2,000	1,000	小平市	5,000	6,000	1,000
中央区	3,000	4,000	1,000	日野市	5,000	6,000	1,000
港区	5,000	7,000	1,000	東村山市	4,000	5,000	1,000
新宿区	7,000	9,000	1,000	国分寺市	3,000	4,000	1,000
文京区	5,000	6,000	1,000	国立市	2,000	3,000	1,000
台東区	4,000	6,000	1,000	福生市	2,000	2,000	1,000
墨田区	6,000	8,000	1,000	狛江市	2,000	3,000	1,000
江東区	10,000	14,000	1,000	東大和市	2,000	3,000	1,000
品川区	9,000	11,000	1,000	清瀬市	2,000	3,000	1,000
目黒区	7,000	9,000	1,000	東久留米市	3,000	4,000	1,000
大田区	10,000	15,000	1,000	武蔵村山市	2,000	3,000	1,000
世田谷区	10,000	15,000	1,000	多摩市	4,000	5,000	1,000
渋谷区	5,000	7,000	1,000	稲城市	2,000	3,000	1,000
中野区	8,000	10,000	1,000	羽村市	2,000	2,000	1,000
杉並区	10,000	15,000	1,000	あきる野市	2,000	3,000	1,000
豊島区	6,000	8,000	1,000	西東京市	5,000	7,000	1,000
北区	8,000	11,000	1,000	瑞穂町	1,000	2,000	500
荒川区	5,000	6,000	1,000	日の出町	1,000	1,000	500
板橋区	10,000	15,000	1,000	檜原村	1,000	1,000	500
練馬区	10,000	15,000	1,000	奥多摩町	1,000	1,000	500
足立区	10,000	15,000	1,000	大島町	1,000	1,000	500
葛飾区	10,000	14,000	1,000	利島村	1,000	1,000	100
江戸川区	10,000	15,000	1,000	新島村	1,000	1,000	500
八王子市	10,000	15,000	1,000	神津島村	1,000	1,000	500
立川市	5,000	6,000	1,000	三宅村	1,000	1,000	500
武蔵野市	4,000	5,000	1,000	御蔵島村	1,000	1,000	100
三鷹市	5,000	6,000	1,000	八丈町	1,000	1,000	500
青梅市	4,000	5,000	1,000	青ヶ島村	1,000	1,000	100
府中市	6,000	8,000	1,000	小笠原村	0	500	500
昭島市	3,000	4,000	1,000	市区町村計	285,000	386,500	54,300
調布市	6,000	7,000	1,000	特別区協議会	2,000	5,000	2,500
町田市	10,000	14,000	1,000	自治調査会	3,000	9,000	3,200
小金井市	3,000	4,000	1,000	合計	290,000	400,500	60,000

(3) 環境アニメ DVD「かれんと不思議の森」(字幕付) 配布

○内 容 環境アニメーション「かれんと不思議の森」の字幕版を作成し、各市区町村に送付した。

○効 果 字幕付の DVD 作成により、聴覚障害者の方の利用が可能となった。

○実施時期 平成 20 年 12 月

○配 布 数

自治体名	配布数
千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区 江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区 中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区 足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、町田市	7
立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市 調布市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市 東久留米市、多摩市、西東京市	5
国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、武蔵村山市 稲城市、羽村市、あきる野市、瑞穂町	3
日の出町、檜原村、奥多摩町、大島町、利島村、新島村 神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村	1

2. 温室効果ガス排出量標準算定手法の共有化推進

(1) 温室効果ガス排出量標準算定手法（区市共通版）の作成

○内 容 平成 18 年度に作成された特別区版の温室効果ガス排出量算定手法を基礎として、この手法を市部にも適応するよう調整を図り、区市共通版の温室効果ガス排出量標準算定手法を作成した。

なお本手法の検討および排出量の算定は、26 市と瑞穂町が参加して行った。

○担当者会議

	日 時	主な検討・報告事項	場 所
第 1 回	平成 20 年 6 月 9 日(月) 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出量算定手法共有化の概要 調査の進め方、スケジュール、アンケート実施 	東京自治会館
第 2 回	平成 20 年 9 月 1 日(月) 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果 算定手法の変更部分 算定における確認事項 	
第 3 回	平成 20 年 11 月 7 日(金) 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出量標準算定手法共有化(暫定版)に関する説明 東京都へのデータ依頼 	
第 4 回	平成 21 年 2 月 26 日(木) 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出量算定暫定数値 	

(2) 温室効果ガス排出量（1990 年度～2006 年度）の算定

○内 容 平成 20 年度に作成した、区市共通版の温室効果ガス排出量標準算定手法に基づき、23 区、26 市、1 町の温室効果ガス排出量を算定した。

○説明会

	日 時	場 所
特別区	平成 21 年 4 月 23 日(木) 15:00 4 月 24 日(金) 15:00	東京区政会館
市・町	平成 21 年 4 月 17 日(金) ①10:00～12:00 ②13:30～15:30	東京自治会館

3. 省エネチャレンジ

○内 容 東京都内の小学校を対象に、児童が各家庭において、12月は普段どおりの生活、1月は省エネを心がけた生活を送り、環境負荷低減活動に取り組む中で、自分たちの暮らしと環境へ与える負荷との関係を学び、また、どれだけCO₂が削減できるかを学年もしくは学級単位で取り組む事業を実施した。

○効 果 次世代を担う多くの子どもたちに、地球温暖化防止に興味、関心を持つきっかけを提供することができた。

○実施結果 **【参加校数及び人数】**
105校（118チーム） / 3,726名

【CO₂削減量及び削減率】

10,217.7Kg / 0.7%

【受賞校】

第1位	墨田区立立花吾嬬の森小学校 (立花吾嬬の森小学校6年2組チーム)	削減率 22.5%
第2位	国分寺市立第七小学校	削減率 18.7%
第3位	世田谷区立東玉川小学校 (東玉川小学校6年生チーム)	削減率 15.3%
特別賞	渋谷区立笹塚小学校 (笹小4-1チーム)	先進的、ユニークな取り組みで 成果を上げた学校(チーム)
〃	東大和市立第十小学校	〃
〃	荒川区立瑞光小学校	児童参加率100%で取り組み、 成果を上げた学校(チーム)
〃	立川市立若葉小学校	〃
〃	檜原村立檜原小学校	〃

※平成21年3月14日(土)に開催した本プロジェクトのシンポジウムの席上において表彰式を行った。



黒須八王子市長による講評

〔2〕みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制構築

1. ホームページによる情報提供の充実

○内 容 本プロジェクトや市区町村の環境情報を提供するため、「新着情報・お知らせ」、「62市区町村の紹介」を拡充し、広くアピールをおこなった。また、事業参加の募集等を見やすく、わかり易くするための改善を図った。

○効 果 62市区町村共同事業として、取り組みの広報活動の場として有意義となっているとともに、それぞれの自治体における一自治体を越えた事業アピールの場としても活用された。また、シンポジウムの申し込みの機能を果たし、利便性向上につながっている。

○実施期間 平成20年4月1日から平成21年3月31日



2. 区市町村職員共同研修

(1) 地球温暖化と省エネルギー

○趣 旨 地球温暖化対策をめぐる世界的な情勢を踏まえた上で、我が国の優れた省エネルギー技術を活用したCO₂削減の取り組みについて、実例を取り上げながら学び、関連する施設見学を行う。

○対 象 特別区及び市町村に勤務する全職員（とりわけ地球温暖化と省エネルギー対策の業務に従事している職員）。原則として3回を通して参加。

○内 容

	日 時	テーマ	講 師	場 所
第1回	7月15日(火) 13:30~16:30	地球温暖化を巡る情勢と改正省エネ法等の国内対策	(財)東京都地球温暖化防止活動推進センター 技術専門員 小林 彰	東京区政会館
第2回	7月17日(木) 13:30~16:30	省エネルギー推進の基本手順と先進事例の紹介	(財)東京都地球温暖化防止活動推進センター 技術専門員 小林 彰	東京区政会館
第3回	8月5日(火) 又は6日(水) (いずれか1日) 14:00~16:30	施設見学：高効率冷暖房機器(コージェネ)、排水の高度処理によるリサイクル利用、屋上緑化など	ホテル・ニューオータニ施設担当者	ホテル・ニューオータニ

○参加者 延べ226人

(2) 東京のみどりの保全と創造

○趣 旨 二酸化炭素吸収・蓄積としての役割が期待されている森林やみどりの現状と課題に視点をあて、東京の森林やみどりの現状と環境問題に対応するための地域連携のあり方について考える。

○対 象 特別区及び市町村に勤務する全職員。原則として3回を通して参加。

○内 容

	日 時	テーマ	講 師	場 所
第1回	10月23日(木) 13:30~16:30	身近なみどりの環境機能と樹木の役割 (現地実践講座)	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 教授 宮林 茂幸 准教授 菅原 泉	国営昭和記念公園

第2回	11月5日(水) 13:30~16:30	東京の森林とみどりの 機能と役割 (ワークショップ)	東京農業大学地域環境 科学部森林総合科学科 准教授 菅原 泉	東京自治会館
第3回	11月6日(木) 13:30~16:30	東京のみどり保全と地 域連携のあり方 (ワークショップ)	東京農業大学地域環境 科学部森林総合科学科 教授 宮林 茂幸	東京自治会館

○参加者 延べ66人

(3) 講演会「大江戸えねるぎー事情」

○趣 旨 「大江戸えねるぎー事情」と題する、ほぼ完全な循環型社会であった江戸時代のエネルギー事情や環境問題についての講演をとおして、石油をはじめとする化石燃料によるエネルギーを大量消費している現代の私たちの生活を見つめなおす。

○対 象 特別区及び市町村に勤務する全職員。

○内 容

日 時	テーマ	講 師	場 所
1月28日(水) 14:00~16:00	大江戸えねるぎー事情	石川 英輔 (作家)	東京自治会館

○参加者 143人

〔 3 〕 人々が環境を考え、行動できる場の設定

1. みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金交付

○内 容 自然環境保護および地球温暖化防止についての普及、啓発を図ることを目的とする市区町村の自主事業に対して、1 市区町村あたり年間 100 万円を上限に助成金を交付した。

○効 果 市区町村における普及・啓発事業について、新規事業実施の契機とするとともに、既存事業の拡充を図ることができた。

○実施期間 平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

2. みどり体験交流事業

○内 容 都内在住の児童を対象に、自然環境保護や地球温暖化防止に関する体験型の環境教育を実施した。都内 14 箇所において、日帰りまたは宿泊で全 14 回、参加者 408 人で行った。参加人数等は下表のとおりである。

○効 果 体験学習によって、子どもたちに自然環境や地球温暖化について、身近に感じさせ、考えさせ、自然環境を保護する大切さを実感させることができた。また、山や海などの自然環境が豊かな地域や自然を守ることを実践している都市での集団生活を通して、子どもたちの健全育成に寄与することができた。これらの活動を通して、62 の市区町村が連携して事業を行うシステム作りなど、連携事業の精度を高めた。

○実施期間 平成 20 年 7 月 25 日～平成 20 年 12 月 25 日

○参加人数等

体験事業		実施日	対象	期間	定員	参加者数	参加率
山の体験	青梅市	9/27～28	小 3～4	1泊2日	30人	29人	96.7%
	檜原村	8/11～13	小 4～6	2泊3日	30人	30人	100.0%
	奥多摩町	7/25～27			30人	30人	100.0%
里の体験	八王子市	7/28～30			80人	81人	101.3%
	昭島市	9/13			30人	23人	76.7%
	日野市	10/13	小 4～6 と保護者	1日	30人	28人	93.3%
	あきる野市	10/5	小 4～6	30人	14人	46.7%	
海の体験	新島村	8/3～6	小 5～6	3泊4日	30人	31人	103.3%
	神津島村	8/24～27			30人	30人	100.0%
	三宅村	8/18～21			30人	28人	93.3%
都市 <small>まち</small> の体験	新宿区	10/11	小 4～6 と保護者	1日	40人	19人	47.5%
	板橋区	8/9			40人	18人	45.0%
	江戸川区	8/23			40人	33人	82.5%
	三鷹市	12/25			50人	14人	28.0%
計					520人	408人	78.5%

3. みんなで環境を考える共同行動の実施

(1) シンポジウム「みんなで考えよう温暖化ー青い地球を守るためにー」の開催

○内 容 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」シンポジウムの開催

○効 果 これからの地球を担う子どもたちとともに温暖化を考え、青い地球を守るためにどんな行動をしなければならないかを実感してもらった。

○実 施 日 平成 21 年 3 月 14 日（参加者 213 名）



多 田 江戸川区長の開会挨拶



青 木 日の出町長の開会挨拶

○プログラム

- ① 第 1 7 回地球環境映像祭にて入賞した「かれんと不思議の森」の上映
- ② オール東京 6 2 市区町村共同事業「省エネチャレンジ」表彰式
(省エネチャレンジのページ参照)
- ③ アグネス・チャン氏による基調講演
「水の惑星に生まれて」～美しい海と森について～
- ④ パネルディスカッションについて
 - ・ 共同事業推進会議 会 長 多田正見 江戸川区長
 - ・ " 副会長 黒須隆一 八王子市長
 - ・ " 副会長 青木國太郎 日の出町長
 - ・ 成城学園初等学校教諭 飯沼慶一氏
 - ・ 歌手・教育学博士 アグネス・チャン氏
 - ・ 省エネチャレンジ受賞者の子どもたち 3 名のパネラーを迎え、「かけがえのない地球を守っていくには、どのような行動をしていくのか」をテーマに千葉商科大学教授の宮崎緑氏のコーディネートで活発な意見の交換の場となった。

(2) 全国 161 自治体の環境事業調査

○内 容 東京 62 市区町村、17 政令指定都市、39 中核市及び 43 特例市における環境事業調査（回答 154 自治体）

○効 果 各自治体の地球温暖化対策、みどり保全・普及についての事業名、事業内容、実績等の調査をすることにより、オール東京 62 市区町村共同事業の展開の参考にすると共に、各市区町村に情報提供をし、各団体の環境事業に資することができた。

○実施期間 平成 20 年 11 月 21 日～平成 21 年 3 月 31 日